

C サポ通信 秋号

2021年11月

No.5



一般社団法人消費生活総合サポートセンター(C サポ) 会長 小野由美子

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6-33 Tel&Fax 03-6268-9873 <https://www.c-support.or.jp/>

全国ネットワーク会議を開催しました！

2021年9月5日(土)

全国からリモート参加で100名以上の参加者が集い、パネリストに対する質問、会議への感想などが数多く寄せられ、参加者の関心の高さと手ごたえを感じるイベントとなりました。報告書は[こちら](#)からご覧ください。

来賓挨拶と「成年年齢引下げと消費者教育の推進」消費者教育推進課課長補佐 中川 壮一氏

令和3年度は民法の成年年齢引下げ施行まで最後の1年です。より、「若年者への消費者教育の推進に関するアクションプログラム」の進捗を報告しました。「[成年年齢引下げに伴う消費者教育全力](#)」キャンペーンの取り組みとしてWebやSNSを活用した周知についても紹介いただきました。

第1部 ミニ講演会

消費生活総合サポートセンター 会長 小野 由美子

成年年齢引下げへの対応と課題について、大学と特別支援学校の動向を解説しました。講師が実施した大学と消費生活センターとの連携授業での事例を報告し、「高齢者、若年者、障害者それぞれの特性に配慮しフィットした教材の開発などが現場で求められている」と説明しました。また、自身が作成に携わった特別支援学校(高等部)向け教材「[ショウとセイコと学ぼう！大切な契約とお金の話](#)」を中学部と高等部で実践した様子とともに紹介しました。

第II部 パネルディスカッション

「成年年齢引下げ問題の現状と課題」弁護士・平澤 慎一氏

法改正に至る経緯と現状、課題を説明し、「改正を目前に控え、若年者への対策が全く不十分である、今、私たちができることは「①実践的な消費者教育の充実、②消費者保護法制の立法提言③手当てできないなら施行延期を求めること」と意見を述べました。また、実現のためには皆さんのネットワークで粘りよく情報を発信していくことが重要と訴えました。

「NPO 消費者支援グループひめまるの取り組み」

NPO 消費者支援グループひめまる代表 武田 咲枝氏

この法人は、相談員が手軽に使える教材を作成するために結成したそうです。消費者教育支援センターの教材表彰に7年間連続応募、そのうち3回優秀賞を受賞しているとのこと。学校現場へのアプローチ方法や教員の理解を得るための注意点など、実践例をもとに具体的に紹介いただきました。

意見交換会

成年年齢引下げで実際に何が起こるかについての正しい理解の普及啓発が、消費者団体に求められています。

一般社団法人
消費生活総合サポートセンター 主催

令和3年度全国消費者教育ネットワーク会議

オンラインセミナー

**成年年齢引下げ目前！
消費者団体に求められる
消費者教育**

9月5日(日) 13:30~15:30

●定員 100名 ●参加費 無料

対象：学校・教育関係者、消費者行政、消費者団体、学生の方

2022年4月に成年年齢の引下げが目前にせまる中、学校における消費者教育の最新状況、法曹界や消費者団体の活動から、今後の方向を見定める！

後援：消費者庁、NPO 消費者支援グループひめまる

例えば、日本弁護士連合会の消費者問題対策委員会では、YouTube に「10 分でおさらい！成年年齢下げの問題点を知る」※の動画と、「狙われる 18 歳！？消費者被害から身を守る 18 の Q&A」(岩波ブックレット)を製作されました。NPO 消費者支援グループひめまるでは、教材を出前講座で活用できる体制作りとオンラインやりもとの啓発活動に取り組んでいます。

それぞれの立場で、「国のバックアップ体制」(中川氏)、「地域に根差した活動」(武田氏)を両輪に、「成年年齢下げの内容と問題点の発信のためにも、様々な立場の方がネットワークを作り、そのネットワークを広げていくかが重要」(平澤氏)との見解を得る貴重な機会となりました。

※ C サポトップページに掲載されています。

C サポ理事会が開催されました

2021 年 10 月 10 日(土)

2020 年 10 月 23 日、C サポの理事会が千代田区西神田の当法人事務所にて開催され、提議された 2 つの議案はいずれも可決承認されました。また、報告事項についても了承されました。

理事会

【決議事項】

第 1 号議案 2021 年度収支予算の補正の件

福祉サービス第三者評価委員会の活動が上期の準備期間をへて本格化し、またオンライン形式による全国消費者教育ネットワーク会議(後援:消費者庁等)を開催したほか、消費者白書の勉強会、学校への出前講座、行政職員等を対象にした講師養成講座を実施するなど、精力的に取り組んでまいりました。しかし、今年度に入ってからコロナ禍により上期の約 8 割の期間で営業活動ができなくなり、当初計画していた会活動員招致活動や事業が停滞し、収入減が見込まれる状況となってきました。そのため、2021 年度の収支予算の補正を行いました。

補正の規模は収入を当初計画の約 25% 減の 11,000 千円と見込み、それに見合う支出の見直しを行ったものです。昨年度作成した「オンラインで学べる消費者教育教材(義務教育編)」が消費者教育支援センター主催「消費者教育教材資料表彰 2021」に応募し優秀賞を受賞した実績や、SDGs を核にした多様な団体との交流も視野に入れています。

第 2 号議案 新入会員入会承認の件

4 名の新入会員について入会を承認しました。

【報告事項】

職務執行状況の報告の件

会長及び専務理事の職務執行状況を報告しました。

ご入会ありがとうございます！
現在正会員数 47 名になりました！



岡山県作成の教材をご寄贈いただきました。

会員の矢吹様から、たくさんの教材をご寄贈いただきました。

「[障がいのある人のための消費者教育教材](#) 岡山県消費生活センター」

ご寄贈いただいた教材は、消費者教育支援センターで受賞したものも多くあり、HP で閲覧することもできます。「障害者の方々の見守り」という視点で、とても分かりやすく読みやすい構成となっています。

現在 C サポ本部事務所に置いてあります。近くにお越しの際は、お立ち寄りいただき、ご覧ください。貸し出しも行いますので、ご興味のある方は、広報委員会までご連絡をお願いします。

矢吹様、ありがとうございます！

C サポ広報委員会アドレス：kouhou@c-support.or.jp



各委員会の活動紹介

福祉サービス第三者評価 本格始動

福祉サービス第三者評価委員会

福祉サービス第三者評価活動も2年目を迎えました。今年度は特養、グループホーム等の事業所23件の依頼を受けています。また、新規の紹介や新たに障害者分野の依頼もいただきました。評価内容等これまでの実績や評価者の視点・姿勢等が認めていただけたものとして、身が引き締まる思いです。

福祉サービス第三者評価では高齢者・障害者や保育など様々な分野があります。高齢者関連分野の評価を主に行ってきましたが、障害者分野では評価実績を持つ評価者も少なく、今後の研鑽が課題です。Cサポでの活動の中で障害者分野などで新しい評価者仲間を得ることが出来るのではないかと大いに期待しているところです。

福祉サービス第三者評価は受審する事業所にも大きな負担を課すこととなりますが、初期の頃に比較すると事業所の意識やサービスの質等に格段の向上や成果が出ていると感じています。第三者評価は事前訪問に始まり、利用者調査、訪問調査、報告書作成、報告会、そして機構への報告書提出と一事業所の評価に3~4ヵ月余りかかり、年度末に向けて並行していくつもの事業所の評価に追われる日々が続きます。評価者個々にもかなりの負担を強いることとなりますが、一人でも多くの高齢者や障害者等が満足できるサービスを受けられるよう評価に向き合っていくという思いを強くしています。



群馬県 講師養成講座(9月30日)

消費者教育委員会

群馬県からのご依頼で、市町村の消費生活相談員の方々を対象に「オンライン講座を開くためのオンライン講座」を開催しました。コロナ禍で消費生活講座を以前のように開催できない相談員の方々にオンライン講座の開催方法をご案内しました。

小学校では生徒全員がタブレットを使い授業を受ける時代になりました。これからは講師がオンライン講座で対応できることが必要です。そこで本講座では、オンラインでできることを実際に体験してもらえるような内容の模擬授業を取り入れました。具体的には、グループディスカッションの進め方やクイズをオンラインで回答しその結果をすぐに見る方法などを体験してもらいました。受講者の方々が実際のオンライン講座にチャレンジして下さると嬉しいです!!

本日のプログラム

1. Cサポ紹介(含む実績)
2. オンラインを使った講座体験
3. 講座は準備が大切
4. オンラインを活用した授業について

国民生活センター 講師養成講座 (10月6日)

消費者教育委員会

昨年度に引き続き、Cサポから講師を派遣しました。緊急事態宣言が明け、久しぶりのリアル講座です。

主催者からは「生徒向け、支援者向けの講座案を初めて考える受講者もいる中、前半のご講義と実演で講座のポイントや留意点を学び、その後の実演を受け、講座案の作成のイメージをつかめたことと存じます。後半のワークでは、ご提案いただいた「いいね」を付けながら他の受講者の講座案をみることで、よいと思うところを取り入れることができ、自分の良かった点を知ることでもできたため、非常に満足度が高かったようでございます。」とのコメントをいただきました。

令和3年度 消費者教育に携わる講師養成講座 (国民生活センター)

—特別支援学校等に通う知的障害(軽度)のある生徒を中心とした若年者及びその支援者への講座実施に向けて

相談員、行政職員向け **相模原研修所** 10名

2日目 9:30~11:30

【講義・実演】知的障害(軽度)のある生徒やその支援者向け消費者教育講座のポイント

2日目 11:40~16:00

【グループ内発表・全体共有・まとめ】知的障害(軽度)のある生徒やその支援者向け消費者教育講座案を考えよう!

2021年10月6日、横浜市立川上小学校5年生(2クラス60人)を対象に、消費者志向経営委員会の2講師が同時に「わたしたちの暮らしとSDGs」の授業を実施しました。地球温暖化をはじめとする世界の様々な問題と自分たちの暮らしのかかわりについて考える授業です。1時間目は講師が地球温暖化や生物多様性、貧困飢餓などの問題を解説し、2時間目は児童が身近なハンバーガーと地球の問題が関係あるかないか、あるとしたらどうかかかわっているのかをグループで考え、発表しました。どのグループも活発に意見交換して積極的に取り組み、SDGsについての学習意欲を高めることにつながりました。

【授業後の感想】

- ・いろいろなことが地球温暖化につながっていると知りびっくりした。SDGsについてもっと調べたいと思った。身近なハンバーガーがこんなに環境問題と関わっていたなんてびっくりした。
- ・自分たちは今、何も知らないでふつうに生活しているけど、大変なことがいろいろおこっているんだとはじめて知った。SDGsが大変な取組なんだなと思った。ふだんの授業では学べないことが学べてよかった。今日の授業でSDGsに興味が出てきたので、どのマークがどのような取組の内容なのか調べてみたい!

この授業の後、児童はそれぞれSDGsのテーマを決めて調べ学習をしてまとめ、11月27日の創立130周年記念事業で発表することとなっています。

お知らせ

EE(え〜)べんとう会 12月18日(土) 13:00~16:00 事業委員会

SDGsを語るなら、エネルギーのことを知ることが大切!地球を大切にしたい思いを会員同士で共有したい!そんな思いでCサポ会員向け勉強会を企画しています。参加自由(無料)!!興味のある月だけの参加もOKです!12月は、

前半「水素エネルギー、原子力発電所等CO2削減にかかわるエネルギー施設の視察報告」

後半「Web教材を活用したエシカル消費の模擬授業」及び教材検討を行います。

東京家政学院大学で行った授業をもとに、受講者の立場でWeb教材を体験いただきます。別途メールでご案内します。ぜひ、ご参加ください。

問い合わせ先 事業委員会: jigyuu@c-support.or.jp

「Cサポの情報玉手箱~動画紹介~」

おすすめの動画です。期間限定ですので、お早めにご覧ください。

[東京くらしフェスタ](#)

メインシンポジウム [「未来を変える気候変動と脱炭素社会」](#)

国立環境研究所 地球システム領域 副領域長 江守 正多さん

配信期間:10月12日(火)10:00~ 12月14日(火)17:00

皆様からの情報をお待ちし
ております!

「18歳から大人! ゆりやんとつくるラップ動画チャレンジ」

応募期間:2021年11月4日(木)から2022年1月5日(水)まで

特設サイト掲載期間:2021年11月4日(木)から2022年3月31日(木)まで(予定)

年齢にかかわらず、どなたでも応募できます。応募要領は[こちら](#)から。



発行日 2021年11月

一般社団法人消費生活総合サポートセンター(Cサポ) 広報委員会